

日本工学院八王子専門学校	開講年度	2019年度（平成31年度）	科目名	スポーツ用品論	
<b>科目基礎情報</b>					
開設学科	スポーツ健康学科三年制	コース名	スポーツビジネスコース	開設期	後期
対象年次	1年次	科目区分	選択	時間数	30時間
単位数	2単位	開講時間	講義		
教科書/教材	授業に必要な教材資料等については教員にて準備・配布する。参考書等を使用する場合には授業内にて指示する。				
<b>担当教員情報</b>					
担当教員	小松雅樹	実務経験の有無・職種	有・専門学校教員		
<b>学習目的</b>					
様々なスポーツ用品について実習と講義の両方を通して用品の機能・構造を理解するとともに、業界の現状把握や将来的な就職可能性についても検討を進めていきます。また、多くのスポーツ用品の取扱いを学びながら、ITやツーリズムといった他の産業との関連性にも目を向け、今後のスポーツビジネス全体における成長分野や将来的ニーズについて理解することを目的とします。					
<b>到達目標</b>					
①スポーツ用品業界に関する基礎知識を身に付けます。 ②各種スポーツ用品の特性や機能についての知識や経験を増やします。 ③スポーツ用品業界の現状を把握し、就職活動に活かします。					
<b>教育方法等</b>					
授業概要	スポーツ関連産業の中でも大きな位置をしめる「スポーツ用品産業」について、各用品の現在のトレンドや課題・問題点、スポーツ用品として扱われる商品多様性やそれらの特徴を学びながら、スポーツ用品産業全般についての基本的な知識や理解を深めます。				
注意点	各業界からの講師を招いて実施する講義となるため、実施日程に調整が入る可能性があります。また、外部施設を使用した授業を行うことがありますので、受講姿勢や施設使用のマナー・エチケットに注意します。 授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができません。				
評価方法	種別	割合	備 考		
	試験・課題	30%	期末試験（筆記・レポート等）の結果により成績評価を行います。		
	小テスト	20%	授業内において中間的な理解度確認のために実施します。		
	レポート	0%			
	成果発表 （口頭・実技）	0%			
	平常点	50%	授業中における出欠席状況と参加積極性(授業態度)によって評価します。		
<b>授業計画（1回～15回）</b>					
回	授業内容	各回の到達目標			
1回	イントロダクション1	スポーツ用品産業の歩み、スポーツ用品市場の規模と推移について理解します。			
2回	イントロダクション2	業界構造と業態変化、販売職の現状と将来について理解します。			
3回	テニス用品（機材構造・機能理解）	テニス用品を実際に使用して、道具の機能特性と取扱い方法を理解します。			
4回	テニス用品（講義）	テニス用品に含まれる、ラケット、ボール、シューズ、ウェア、その他関連器材について理解します。			
5回	トレーニング器材（機材構造・機能理解）	トレーニング器材を実際に使用して、道具の機能特性と取扱い方法を理解します。			
6回	トレーニング器材（講義）	トレーニング器材に含まれる、フリーウェイト、ウェイトマシン、ファンクショナルエキップメント、その他関連器材について理解します。			
7回	ゴルフ用品（機材構造・機能理解）	ゴルフ用品を実際に使用して、道具の機能特性と取扱い方法を理解します。			
8回	ゴルフ用品（講義）	ゴルフ用品に含まれる、クラブ、ボール、シューズ、ウェア、その他関連器材について理解します。			
9回	ランニングシューズ（講義）	ランニングシューズの構造、機能、製造工程、種類、市場動向などについて理解します。			
10回	アウトドア用品（講義）	アウトドア用品の構造、機能、取扱い方法や就職先としての業界動向などについて理解します。			
11回	スポーツバイク（展示会見学）	スポーツバイクの大型展示会に参加し、最新のスポーツバイク業界の動向について理解します。			
12回	スポーツバイク（講義）	スポーツバイクの歴史や発展過程、構造、機能、取扱い方法や最新の業界動向などについて理解します。			
13回	スキー用具（講義）	スキー用品に含まれる、スキー、ブーツ、ウェア、その他の関連器材の構造や機能について理解します。			
14回	スポーツ用品製造・流通	スポーツ用品メーカーの歴史や役割、そして現在の業界動向について理解します。			
15回	授業総括	スポーツ用品業界全体の将来的展望や職業的可能性について理解します。			